



未来に向かって伸びる鶴嶺の子

鶴小だより 春休み号

一緒に育てよう！！

今日は、学校評価アンケートの結果についてお話しします。

①学校に来るのは楽しい。

そう思うは61%で、昨年度よりも4ポイント低い値となりました。保護者調査の「お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。」の結果と合わせて見てみると、保護者のそう思うも、58%で昨年比2ポイントダウンしています。

児童アンケートの別の設問「勉強がよく分かる」と「勉強が楽しいか」の問いを併せて見てみると、肯定的評価はそれぞれ2ポイント低くなっています。学校に来るのが楽しいと、この「授業」の楽しさや分かった感が、関連していることを端的に表していると考えることができそうです。一方教員の取組に目を移すと、授業改善への取組の部分もその成果を問う質問でも、肯定的評価で見ると昨年度と変わりありません。しかし、よく当てはまるだけに着目すると、授業改善への取組が8ポイント、その手応え、成果は11ポイント低い値です。

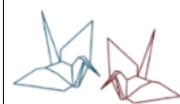
→子どもの数値の低下は、全数調査に切り替えたことが影響している可能性があります。教員の取組については、僕が実際に目にしている教職員の姿と回答に差があるように感じます。忙しさの中で十分にやりきれていないという気持ちが、表れたのかもしれませんが。

②学校では、悪口を言われたりいじめられたりしないで、安心して過ごせる。

そう思うと少しそう思うを合わせると81%です。昨年度調査と比べて、9ポイント低い値となっています。別の質問、「困ったときに話を聞いたり助けてくれたりする先生がいる」のそう思うの回答は、同じように4ポイント低い値でした。保護者アンケートの、学校は「安全」「安心」な学校づくりに取り組んでいるの項目では、肯定的評価は昨年度と同様ですが、そう思うの回答は、2ポイント高い値となっています。教職員へのアンケート、私は、「安心」「安全」な学級づくりに向けて具体的に取組んだという設問に対して、そう思うの回答は21ポイント増えています。

→児童全数調査に切り替えたことで、より実際の子ども気持ちを捉えられたと考えています。ここをスタートとして、この値をどう動かしていけるか挑戦していきたいと考えます。教職員は、「安心」「安全」な学校づくりに取り組んでいると言えた職員が大幅に増えたのです

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 日高 大司郎
令和7年3月25日発行



から、期待していきたいと思っています。

③鶴嶺小は、子どもたちや保護者の相談に丁寧に対応している。

保護者の皆さんの肯定的評価は、昨年度とほとんど同じでした。しかし、教職員の私は子どもたちや保護者の相談に丁寧に対応できたという問いでは、昨年度と比べて7ポイント高くなっています。

→職員が「できた」と回答していることを大切にしたいと考えます。全職員が「できた」と言えるよう、引き続き働きかけていきます。

④鶴嶺小は、いじめ防止や子どもたちの支え合う関係づくりなど、こころの教育の充実に取り組んでいる。

保護者の皆さんからのそう思うの回答は、昨年よりも11ポイント下がり、36%でした。肯定的評価でも、3ポイント低い値です。しかし、教職員の、私はいじめ防止や子どもたちの支え合う関係づくりなど、心の教育に具体的に取組んだでは、そう思うが5ポイント高くなっていました。同時にその成果・手応えを問う質問でも、8ポイント高くなっています。

→保護者の回答は大幅に下がりましたが、職員の回答は上向きました。僕はまず、どの教職員も「取り組んだ」と言えることを重視しています。保護者の皆さんに伝わっていないことを肝に銘じつつ、教職員の実践を後押ししたいと思います。

思っていた結果とのズレがあって、残念な部分もありましたが、目に見えて職員が「取り組んだ」と胸を張れた部分があったことに期待と思います。少なくとも、職員1人1人が〇〇のために、こういう取り組みをしたと必ず具体的な手立てをもち教育活動できるよう努めて参ります。

今年度も一年間、学校へのご理解とご協力をいただき大変ありがとうございました。学校だけでも、ご家庭だけでも、子どもたちをよりよく育てることは難しいと考えています。「未来に向かって伸びる鶴嶺の子」を協力して一緒に育てたい。共育て（ともそだて）が、必要なのだと考えます。

意見が合わないこともあると思います。ご心配をかけて、学校を信頼できないと思われることもあるかもしれませんが、僕は、僕ら鶴嶺小学校の職員は、「子どもたちが幸せになること」を願っています。皆さんも同じはずです。保護者の皆様と学校職員が同じ方向を向いて、何か起こったとしても、子どもを真ん中に置いて、「子どものために」心と力を合わせていきたいのです。